

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	教科書：All Aboard! Communication EnglishⅡ（東京書籍） 副教材：英文法リアクション・トレーニング（三省堂）

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
絵や写真など視覚的補助を利用してそれについて既習の表現や教科書の表現を用いて本文の内容を説明できる。	コミュニケーション英語Ⅱ インタビューテスト 暗唱テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 など 	コミュニケーション英語Ⅱ ライティングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 など 	コミュニケーション英語Ⅱ ライティングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 など 	コミュニケーション英語Ⅱ 暗唱テスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに興味をもち、積極的に言語活動を行う、コミュニケーションを円滑に行っているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 My friend in Hawaii (4時間)	ハワイに住んでいる日系アメリカ人の友人を紹介している。ハワイの文化を知ると共に、自己紹介の方法について学習する機会とする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。		
		「外国語表現の能力」				・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。 ・付加疑問文のテストを行う。
		・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分のことについて話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分のことについて伝え合う。	・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の趣味・特技について話すことができる。		
		「外国語理解の能力」				/
		ALT との円滑な意思疎通を目指す。	・ Reading out を利用して、セクションごとに概要を把握する。	ALT との円滑な意思疎通ができているか。		
「言語や文化についての知識・理解」				・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		
・自分の考えや気持ちを伝える表現 (That's why ~など) の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現 (That's why ~など) の使い方を理解している。				
Lesson 2 Streetcars in my city (4時間)	近年、注目を浴びている路面電車について学ぶ。路面電車の再生がなぜ21世紀の街づくりに重要なのかを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		・路面電車について知っている情報や、それについて考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、路面電車について知っている情報や、それについて考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・路面電車について知っている情報や、それについて考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話している。		
		「外国語表現の能力」				・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		・興味をひかれた路面電車について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれた路面電車について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれた路面電車について、適切に書くことができる。		
		「外国語理解の能力」				・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		・路面電車が、各都市でどのような使われ方をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、路面電車について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・路面電車が、各都市でどのような使われ方をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解することができる。		
「言語や文化についての知識・理解」				・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		
・関係代名詞の使い方を理解する。 ・be proud of ~などの使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の使い方を理解している。 ・be proud of ~などの使い方を理解している。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 Crossing language Barriers (4時間)	一流の芸人として世界にその名をとどろかせている腹話術師の「いっこく堂」。彼のモットーは「現地の言葉で公演すること」である。インタビューを通して生徒に外国語学習の意義について考える機会を提供する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、興味を持った点について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、興味を持った点について伝え合う。	・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の興味を持った点について話すことができる。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・自分の考えや関心を伝える表現（現在完了～など）の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・自分の考えや気持ちを伝える表現（現在完了～など）の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
Lesson 4 The spirit of the forest (4時間)	国の天然記念物・準絶滅危惧種に指定されているヤマネの生態を通して、環境保全や人と自然の共存について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ヤマネについて知っている情報や、環境問題について考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、ヤマネについて知っている情報や、環境問題について考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ヤマネについて知っている情報や、環境問題について考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれたヤマネの生態やその生活について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれたヤマネの生活について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれたヤマネの生活について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ヤマネが、現在どのような生活を送り、どのような状態にいるかについて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、ヤマネの生活について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・ヤマネが、現在どのような生活を送り、どのような状態にいるかについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・間接疑問文の使い方を理解する。 ・形式主語の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・間接疑問文の使い方を理解している。 ・形式主語の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Girl with a pearl earring (4時間)	その内省的な絵画で世界的な人気を博しているフェルメールの作品をとりあげる英語を通してその魅力に迫る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・作品の感想を述べる。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分のことについて伝え合う。	・人物についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・作品の感想を述べることができる。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・Reading out を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
Lesson 6 Mago no mise (5時間)	本教科書で学ぶ高校生と同年代の高校生が、「まごの店」というレストランで働く姿を自分たちの生活と比較しながら、一人ひとりが自分たちの将来について考える一助とする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・料理について知っている情報や、それについて考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、料理について知っている情報や、それについて考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・料理について知っている情報や、それについて考えていることを、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた内容について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれた内容について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれた内容について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・「まごの店」が、どのような活動をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、「まごの店」について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・「まごの店」が、どのような活動をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞の使い方を理解する。 ・be in charge of～などの使い方を理解する。	・本文中で用いられている英単語の意味や用法を確認する。	・不定詞の使い方を理解している。 ・be in charge of～などの使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 A microcosm in the sea (5時間)	環境破壊が進むグレートバリアリーフの現状をマイクのプレゼンテーションを通して理解し、日本国内における環境問題にも目を向けさせ、自分たちが出来る環境保護について考える機会とする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・グレートバリアリーフについての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、自分の感想について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の感想について伝え合う。	・主題についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の感想について話すことができる。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・Reading out を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・If 節の使い方を理解する。	・本文中で用いられている英語の意味や用法を確認する。	・If 節の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
Lesson 8 Wings of music (5時間)	寺久保エレナはJazz のAlto Sax 奏者として中学時代から注目を集め、高校卒業後アメリカに単身留学してさらに独自の音楽表現を広げている。特に、音楽と英語についての彼女の体験は外国語を学ぶ上で示唆に富んでいる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・Jazz について知っている情報や、それについて知っていることを、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、Jazz について知っている情報や、それについて考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・Jazz について知っている情報や、それについて知っていることを、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた内容について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれた内容について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれた内容について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・英語が、彼女の音楽活動でどのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、路面電車について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・英語が、彼女の生活でどのような使われ方をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・関係代名詞の使い方を理解する。 ・think of～などの使い方を理解する。	・本文中で用いられている単語の意味や用法を確認する。	・関係代名詞の使い方を理解している。 ・think of～などの使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Magic of the cotswolds (5時間)	さおりが旅行中に先生、リンダ、マイクに宛てて書いたメールの内容を通して、イギリスの様子や旅の感想などから外国への興味を持たせたり、自分の住んでいるところについて考えるきっかけとした。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・メールを読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、興味を持った点について話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、興味を持った点について伝え合う。	・メールを読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、自分の興味を持った点について話すことができる。	・授業時間を利用して音読テストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・Reading out を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
「言語や文化についての知識・理解」					
	・関係副詞の使い方を理解する。 ・さまざまな、動詞句を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係副詞の使い方を理解している。 ・さまざまな、動詞句を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	
Lesson 10 Bunraku (5時間)	日本の伝統的な人形劇である文楽について留学生のリンダによるスピーチを通して自国の文化を見つめなおすきっかけとする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・文楽について知っている情報や、思っていることを、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、文楽について知っている情報や、環境問題について考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・文楽について知っている情報や、感想について、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味をひかれた文楽の内容やリンダの感想について、適切に書く。	・セクションごとに、興味をひかれたリンダの感想について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれたリンダの感想について、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・文楽とは、どのような芸術かについて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、文楽について読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・文楽が、どのようなもので、リンダがどのような感想を持っているかについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・知覚動詞の使い方を理解する。 ・so that 節の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・知覚動詞の使い方を理解している。 ・so that 節の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。	

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 11 Bitter truth about Chocolate (5時間)	チョコレートの原材料であるカカオの生産と西アフリカにおける児童労働に関する現状を把握し、その1つの解決策であるフェアトレードシステムについて考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読を続けている。 		
		「外国語表現の能力」				<ul style="list-style-type: none"> 授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		<ul style="list-style-type: none"> カカオ・フェアトレードについての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 読んだことに基づき、自分の感想を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションの内容を口頭で要約する。 ペアで、メモに基づいて、自分の感想について伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> カカオ・フェアトレードについての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 読んだことに基づき、自分の感想を話すことができる。 		
		「外国語理解の能力」				/
		(本単元では設定しない)	<ul style="list-style-type: none"> Reading out を利用して、セクションごとに概要を把握する。 	(本単元では設定しない)		
「言語や文化についての知識・理解」				<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 		
<ul style="list-style-type: none"> 使役動詞の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 使役動詞の使い方を理解している。 				
Lesson 12 Hayabusa's Present from space (6時間)	数々の苦難を乗り越えて世界初のサンプルリターンを成功させた小惑星はやぶさのエピソードを通して日本人技術者の誇りを学ばせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> はやぶさについて知っている情報や、それについて考えていることを、話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 各セクションを読む前に、はやぶさについて知っている情報や、それについて考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> はやぶさについて知っている情報や、それについて考えていることを、積極的に話している。 		
		「外国語表現の能力」				<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> 興味をひかれた内容について、適切に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> セクションごとに、興味をひかれた内容について、ワークシートに英語で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味をひかれた内容について、適切に書くことができる。 		
		「外国語理解の能力」				<ul style="list-style-type: none"> 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		<ul style="list-style-type: none"> はやぶさが、どのような使われ方をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> セクションごとに、関連した画像などを見ながら、はやぶさについて読み、イメージとともに、その内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> はやぶさが、どのような使われ方をし、どのような貢献を及ぼしているか、について、読んだことを理解することができる。 		
「言語や文化についての知識・理解」				<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 		
<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文の使い方を理解する。 be moved by～などの使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文の使い方を理解している。 be moved by～などの使い方を理解している。 				